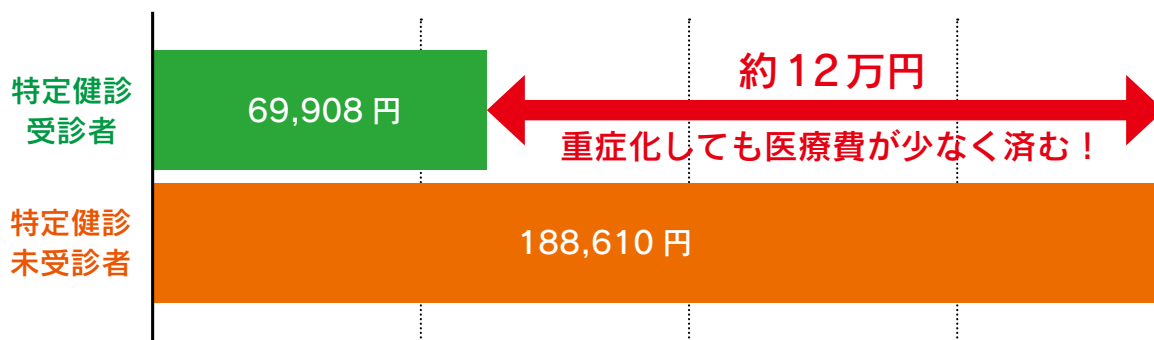


今、健診を受けるか受けないかで 将来、年間約12万円の 医療費の差が生まれます。

■ 特定健診受診有無による、重症化症候群1人当たりの医療費（年間）



（出典：「平成27年度健診結果・レセプト」より）

■ 健診を受けない人は、
健診を受ける人より、
将来的にお金がかかる

生活習慣病は自覚症状がないため、特定健康診査（特定健診）などの健診でチェックしていないと、知らない間に病気が重くなっていきます。事実、重症化して入院した人の約7割は健診未受診者でした。

◇ ◇
特定健診を受診した人と受診していない人の医療費の差は、年間約12万円（上グラフ）。さらに、病気による食事の改善など、生活費にも多く費用がかかるようになります。

今、健診を受診することで、生活習慣病になることを防ぐことができ、将来かかる医療費を抑えることができます。

将来に対して12万円分／年間の貯蓄をしていると思つて、今年こそは特定健診とがん検診を受診しましょう。

【生活習慣病】偏食、運動不足、喫煙、ストレスなど生活習慣に起因する病気。高血圧や糖尿病、脂質異常症など。これらが重症化すると、心筋梗塞や脳梗塞、腎臓病につながる。

桂川町国民健康保険保健事業実施計画 （データヘルス計画）

データヘルス計画とは、国民健康保険加入者の、レセプト（診療報酬明細書）や特定健診などから得られるデータ分析に基づき、加入者の健康状態に即した、より効果的な保険事業を行うための実施計画です。桂川町では、この計画によるデータ分析を行い、国民健康保険事業に取り組んでいます。



「生活習慣を変えようとは思ってるんだけど…」

特定健診の結果はすべて数値化されるので、毎年受けることで体の変化がわかるようになり、「食べすぎ」「お酒の飲みすぎ」「運動不足」など、何をどう改善すればいいのかわかってきます。また、桂川町では保健師などによる生活習慣改善のお手伝いも行っています。健診受診を生活習慣の改善のきっかけにしてみませんか？